



のびのび いきいき 生涯学習

生涯学習グループの紹介



現在、都留市内において各種団体に所属し、活動している学習グループや自主的に学習しているグループを紹介します。

学びを基に発展をめざす

【都留機械金属工業協同組合】

昭和四十七年の設立以来、研究・研修活動を重視してきましたが、特に、平成四年度から三年間にわたり、通産省・労働省の助成事業としての「中小企業人材確保推進事業」を組合事業として実施し、一層の充実がはかられ、助成期間終了以後も自力で活動を継続し、さらに成果をあげています。

◇助成事業としての活動

①研究・研修活動

労働時間短縮、職場環境改善、従業員の福利厚生充実、雇用問題改善、採用活動改善、労働関係改善、省力化機器・技術の導入、新技術活用、業務改善、融資など諸施策制度検討、モデル企業施設見学など。

②調査活動

従業員意識調査、経営者意識調査、機械金属工業界に対する高校生（谷村高校）のイメージ調査など。

③その他

教育研修マニュアル及び女子・高齢者活用マニュアルの作成、明るく活力のある職場づくりの標語募集とポスター作成、従業員福利厚生事業の実施など。

◇充実する自主活動

中小企業経営研修、経済・法律関係研修、介護休業制度研修、労働時間短縮研究、雇用制度研究、高齢者雇用研究、労働災害防止研究、業務の安全性研究、技術高度化事業「インターネット」研究、研究発表「生産管理とパソコンNC小規模ネットワークのすすめ」、各種視察研修、従業員福利厚生事業の実施など。

◇今後への期待

ともに学び、考え、行動することによって、共通認識が深化し、連帯が強まり、組合の活性化が図られ、加入企業の充実にもつながっています。特に、若い世代の意識、意欲が高まり、現在、それが大きな原動力となり、まさに、「継続は力なり」の言葉どおりの実践活動となっています。また、本年度は新たな歩みとして、県立谷村工業高校との連携により、組合加入事業所の職員を対象としたパソコン講座を、高校の施設開放、公開講座として実施することが企画されています。将来的には、企業のインターネットホームページの制作やコンピュータによる受発注システムなどについても学ぶ予定です。

問合せ先 都留機械金属工業協同組合

☎(43) 6005



都留機械金属工業協同組合の研修の様子

通産大臣の諮問に答える

【産業構造審議会生涯学習振興部会の中間報告書】

通産大臣から生涯学習社会及び生涯学習振興方策について諮問を受けた同部会は、次のような中間報告書をまとめています。

◇第一部

望ましい生涯学習社会に向けての方向性を提示するにあたって、①高齢化、②女性、③フルタイム労働者、④地域の各視点から検討し、様々な制度の見直しを含め、①③④の各属性のあるべき姿と、すべてにわたっての通産省関連の具体的施策を検討しています。また、④の視点では、地域にある様々な資源を活用して、人と人とのつながりとなる核を作り、地域コミュニティを形成することや、「学ぶ場」「生かす場」を整備していくことにより、生涯学習社会を形成する方向で検討しています。



工場見学の様子

◇第二部

消費者が多様な学習機会を享受することを可能にするような産業に対して、ビジョンを作成することが望ましいという観点から、主な生涯学習関連産業として、カルチャーサービス、出版、スポーツ、映像情報、音楽の五業種を選定し検討しています。

◆この報告書は、生涯学習社会の建設に向けた具体的な施策の遂行に資すると同時に、学習機会の提供に重要な役割を果たす民間事業者や各関係機関・団体にとっても具体的な目安として活用できるものとしています。

また、文部省生涯学習審議会の答申と合わせて、地域生涯学習基本構想の策定に活用されることとしています。